

令和6年度 島根県学力調査・江津市学力調査結果概要

江津市教育委員会

1. 小学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・小5, 6国語・算数は島根県調査のため県平均値と比較
- ・小3, 4国語・算数, 小5, 6社会・理科は江津市独自調査(東京書籍標準学力調査)のため、目標値と比較
- ※目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

※塗りつぶし部分は江津市独自学力調査

	小3		小4		小5				小6			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科
江津市	58.6	64.7	61.6	59.4	68.3	60.0	64.8	66.3	65.7	67.0	61.5	62.5
目標値	62.2	70.3	66.7	66.5	66.2	61.0	62.2	66.9	64.8	66.5	60.5	63.5
島根県	-	-	-	-	65.0	55.9	-	-	62.9	63.7	-	-

	小3	小4	小5	小6
国語	目標値を下回り(-3.6)、特に「話すこと・聞くこと」に課題がある。「書くこと」は概ね良好な状況である。	目標値を下回り(-5.1)、特に「情報の扱い方に関する事項」に課題がある。	県平均値を上回り(+3.3)、概ね良好な状況である。	県平均値を上回り(+2.8)、概ね良好な状況である。
算数	目標値を下回り(-5.6)、「わり算」「かけ算」に課題がある。	目標値を下回り(-7.1)、「億、兆・がい数の表し方」「わり算」「垂直・平行と四角形」に課題がある。	県平均値を上回り(+4.1)、概ね良好な状況である。	県平均値を上回り(+3.3)、概ね良好な状況である。
社会			目標値を上回り(+2.6)、概ね良好な状況である。	目標値を上回り(+1.0)、概ね良好な状況である。
理科			目標値とほぼ同じ(-0.6)。「流れる水の働き」「植物の発芽と成長」に課題がある。	目標値を上回り(+1.0)、概ね良好な状況である。

【意識調査結果】(5, 6年) 島根県のデータとの比較

強み	国語「話し合いて、自分の考えを積極的に話している」「話し合いて、相手の話をしっかり聞き取っている」 「国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問している」(5, 6年) 算数「算数の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている」(5, 6年) ・「学校が好きである」「自分のことが好きである」(5, 6年) ・「地域の行事に参加している」(5, 6年) ・「将来の目標や夢をもっている」(5, 6年) ・「自分が住んでいる地域が好きである」「自分の力をできる限り伸ばしたいと思う」(6年) ・「今年度の授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を毎日使用した」(5, 6年)
----	--

	・「今年度の授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっていた」「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたり、やってきた宿題にコメントをしてくれたりしている」(5,6年)
弱み	・「算数の問題を解くときは、以前に解いた方法が使えるかどうか考えている」(5,6年) ・「自分の力をできる限り伸ばしたいと思う」(5年) ・「平日、(PC、スマートフォン等を使った)ゲームや動画視聴を2時間以上する」(5,6年)

2. 中学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・中1,2国語・数学・英語は島根県調査のため県平均値と比較
- ・中1,2社会・理科は江津市独自実施(東京書籍標準学力調査)のため目標値と比較
- ※目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

※塗りつぶし部分は江津市独自学力調査

	中1					中2				
	国語	数学	英語	社会	理科	国語	数学	英語	社会	理科
江津市	59.5	49.5	45.5	48.4	39.6	61.8	52.2	44.6	49.0	37.1
目標値	57.5	55.2	61.1	51.2	52.8	55.6	51.7	59.5	47.2	50.2
島根県	58.8	52.1	48.6	-	-	56.6	48.7	44.1	-	-

	中1	中2
国語	県平均値を上回り(+0.7)、概ね良好な状況である。	県平均値を上回り(+5.2)、概ね良好な状況である。
数学	県平均値を下回り(-2.6)、「数と式」「関数」の領域に課題がある。	県平均値を上回り(+3.5)、概ね良好な状況である。
英語	県平均値を下回り(-3.1)、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域に課題がある。	県平均値とほぼ同じ(+0.5)。
社会	目標値を下回り(-2.8)、「地理」「歴史」の領域に課題がある。	目標値を上回り(+1.8)、概ね良好な状況である。
理科	目標値を下回り(-13.2)、「エネルギー」「粒子」「生命」の領域に課題がある。	目標値を下回り(-13.1)、「エネルギー」「粒子」「生命」の領域に課題がある。

【意識調査結果】(1,2年生)島根県のデータとの比較

強み	・「学校での出来事を、家の人に話している」「地域の行事に参加している」(1,2年) ・「学校が好きである」「自分が住んでいる地域が好きである」「自分のことが好きである」(1,2年) ・「自分は先生から認められていると思う」「自分は家の人から認められていると思う」(1,2年) ・「自分の力をできる限り伸ばしたいと思う」(1,2年) ・「数学・英語の授業で分からないことがあれば、先生に質問している」(1,2年) ・「数学の勉強は好きだ」(1,2年) ・「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」(2年) ・「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたりやってきた宿題にコメントをしてくれたりしてくれる」「今年度の授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたと思う」(1,2年) ・「平日(PC、スマートフォン等を使った)ゲームや動画視聴を2時間以上する」
----	--

	・「今年度の授業でコンピュータ・タブレットなどの ICT を週3回以上活用した」
弱み	・「自分で勉強の計画を立てて、勉強している」 ・「学校図書館の資料を使った授業は他の授業を行うときにも役立っていると思う」

3. 今後の取組

下記の教育を推進するために、江津市教育委員会と市内小中学校とが連携を図りながら、指導改善に取り組む。

○学校で子ども達が学んだことが人生や実際の生活で生きるように確かな学力と主体的に学び続ける意欲を育む教育を推進する。

○ICT 等の効果的な活用を推進し、子ども達が自らの学び方等を選択するなどして学びを自己調整できるような教育環境の整備を推進する。

◇調査結果の活用◇

- ・「各教科調査結果」「生活・学習に関する意識調査」の結果をもとに、今年度の各校「学力育成推進プラン」等の成果及び課題を把握し、取組改善を図る。併せて次年度の学力育成担当者、担任等へ結果及び対策を引継げる体制を整える。
- ・児童生徒の学習内容定着状況を確認し、それぞれの児童生徒への実態に応じた補充学習や発展学習等、組織的な指導を充実させる。

◇授業の質の充実◇

- ・学習指導要領に基づいた資質能力が適切に育成される授業実践をする。学習内容の系統性、幼保小中での連続性を大切に、特に「思考力・判断力・表現力」を育成する取組を充実させるために「情報と自分の考えを結び付けながら根拠をもって説明する」「複数の情報を整理・分析し自分の考えを形成・表現につなげる」等の学習場面を意図的に取り入れる。
- ・1人1台端末や学校図書館等を活用し、児童生徒が自らの学び方を見出すことができるような授業展開を行う。

◇家庭学習の充実◇

- ・学校は家庭との子ども達の学びが連続し、理解がより深まるように授業と家庭学習をつなぐ課題を設定する。
- ・個に応じた学習内容や方法を選び、学びを深めていけるように家庭学習を充実させる。(1人1台端末の活用を含む。)
- ・学校は家庭との連携を大切に、家庭学習の在り方等を共通理解しながら習慣化を図る。

◇地域に関わる学習の充実◇

- ・児童生徒が興味・関心に基づいた地域や学校の特色を生かした課題を見出し、主体的に学び、考えようとする意欲の醸成を図るために地域のひと・もの・ことを効果的に活用する。
- ・「総合的な学習の時間」が他教科で学んだことを実際に活用する場面になるよう、カリキュラムマネジメントの推進を実施する。

◇学校訪問の実施◇

- ・指導主事の学校訪問、校内研修等を実施する。